



レイサの妄想が
気持ち良すぎる話

わわっ!!

ちよつと素早
すぎませんかーっ!!

ぐっ……
これでは退却も
叶いません……っ

わたしは一向に
かまいませんッッ

そんなんっ!
スズミさん
だけズル――

ですがもし欲が
満たされることで
先生が元に戻るの
でしたら……

先生でしたら……

あ……いえ……
今は……



正義の
魔法少女が…

こんなこと…
で……っ

きもちいい…♡

こんな…
せつくしゅ…♡

せん…せ…
私の中を欲で
満たしたら……っ

きつと
元に戻って…

また一緒に
パトロール……
を――

幸せなんて
思っちゃ……
ダメなのに…♡

あ…あ…っ♡

んんん
びゅん



—というような
展開はいかが
でしょうかッ

い…いやいや
正義の味方が
そんなこと
許しては…

ん？
正義の味方？

むしろ逆に—

スズミ…
レイサ…

元に戻って…

こんなこと
しちゃダメだ…

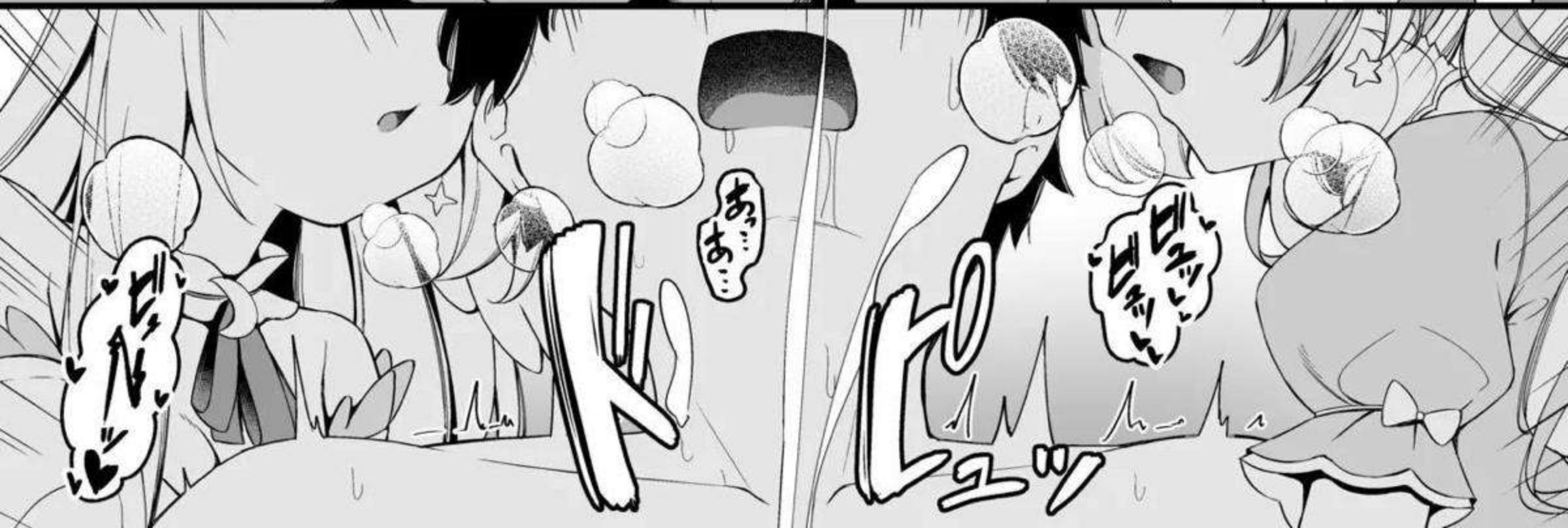
え…
私にはシて
欲しそうに
見えますけど♡

良いんですよ
先生♡

快楽に溺れて
全て忘れて
しまいましょ♡

ほら

せーの♡





—というのは!?

アリッ!!!

だと思えますッ!!!

でももし—



先生…どうか
レイサさんには
内緒で……

こんなこと
知られる
わけには……っ

うん……
二人だけの秘密
だからね……

なんてことに
なっていたら!?



まさか
そんなワケ——

テルミットピンク
参じよ——

お……

非番でも先生の
警護とは関心です
ね
レイ——

テルミットピンクっ

セックス——

あいや……っ

せっかくだし
みんな
パトロールに
行こうかつ